

TOPICS

「こゝろで感じる」

虎姫町の「里山が好き女性会」は、地元中野区の女性を中心に活動を始めて約12年。主な活動は、虎御前山の竹の間伐と伐採した竹での竹炭づくり。その竹炭は、今では虎姫町の特産品にまで成長しています。

会の目的は「楽しみながら竹に直接触れ、竹のにおいを感じてもらおうとともに、自然に関心を持つてもらおう」と話す代表の横田光代さん。

最近では、竹細工の指導に町内会のイベントなどに呼ばれることも多いそうで、竹を通じて自然を感じることに楽しさと自然環境の大切さを伝えられています。



↑子どもたちに竹細工を教える代表の横田さん



←修学旅行で漁業体験をしている中学生

触れて感じる

「ラムサール条約にも登録されている美しい自然に囲まれた湖北の地だからこそ感じられるものは必ずある。」と語ってくれるのは『びわ湖漁業体験』のインストラクターの一人、湖北町尾上にお住まいの漁師の松岡さん。

「びわ湖漁業体験」は、現役の漁師さんがインスタトラクターとなり、漁業体験を通じて環境問題を学んでもらおうというプログラム。「本物の漁業を体験することで、自然の恩恵を肌で感じられる。遠くで捨てた空き缶一つでびわ湖が汚れることに気づくはず。きれいな景色をきれいと感じ、それを保つため何が必要か一人ひとりの気づきの場となれば良い。」そんな思いを込めたこの活動は今年も展開されています。



↑湿原の復元作業をする守る会のみなさん

西浅井町の北端に位置する「山門水源の森」は、ブナ林・アカガシ林のほかに、この森に降った雨水がたまってできた山門湿原があります。この湿原は約3万年の歴史をもつ、ミズゴケを主とする高層湿原で、貴重な動植物の宝庫となっています。

貴重な自然を未来に残すために、山門水源の森を次の世代に引き継ぐ会のみなさんが、「山門水源の森」を次の世代へ引き継ぐことを最優先に、保全活動に取り組まれています。中でも乾燥が進みアカマツなどの雑木が生い茂った北部湿原を、5年間の歳月をかけて湿原に復元された取り組みは、山門老人会や淡海森林クラブなどの協力を得ながら実施されました。

「食べて感じる」

菅並地区のみなさんにより管理・運営が行われている「妙理の里」では、余呉町に昔から伝わる「とち餅」が作られています。

使われている「栃の実」や「もち米」、「小豆」は、もちろん地元産。そんな自然がたくさんつまった「とち餅」は、5月の「余呉山菜まつり」や9月の「秋の収穫祭」で販売されており、自然豊かなふるさと余呉の味を楽しむことができます。

このように、1市6町では、住民が中心となった、自主的な活動が活発に行われています。新市では、こうした活動の輪が全市に広がるような取組をすすめながら、「五感で感じる環境づくり」をキーワードに愛着の持てるまちづくりをめざします。



↑とち餅づくりをされている菅並地区のみなさん

新しい長浜市ってどんなまち

②自然・生活環境編

TOPICS

自然の恵みに感謝し 環境を五感で感じるまちへ

湖北地域の1市6町には、貴重な植物や動物が生息する自然豊かな山々や、渡り鳥が羽を休める水辺など、人間だけでなく、ほかの生きものにも暮らしやすい空間が広がっています。そうした恵まれた自然環境や景観を次代に引き継ごうと、各地域で環境を守り、育てるさまざまな取り組みが行われています。今回は、各地域での活動を紹介しながら新長浜市での自然との関わりや暮らし方を考えます。



↑新緑の横山岳に登る登山客

↓愛でる会が建設した蛭の飼育小屋



今年、ホタルの飼育小屋を建設された「米川で蛭を愛でる会」では、まちなかに舞うホタルを多くの人々にみてもらうため、観察会を開催されています。

「目に見える」

毎年1万人以上の登山客が訪れる横山岳は、ブナやナラの原生林が多く、山頂からは湖北地域全域や日本海を望むことができます。

この横山岳の景観保護や環境整備を行っているのが「杉野山の会」。

「山の会」は、登山客の目を楽しませてくれる木々や草花のみどりや素晴らしい眺望を守るため、原生林の管理や登山道の整備を行なわれています。

「目に見える」

長浜市の米川支流環境づくり協議会は、約20年前、悪臭が匂うドブ川だった米川の支流をもとに戻そうと、年約6回の河川清掃を続けてきました。その結果、美しく生まれ変わった米川に最近ではホタルが乱舞するようになりました。

また、もつとまちなかにホタルを増やしたいとの思いから、



↑まちなかを流れる米川を清掃する「米川支流環境づくり協議会」のみなさん

かつては子どもたちの遊び場であった高時川。以前のように美しい安らぎを感じられる水辺に戻そうと、沿線地域(雨森、保延寺、高月、馬上の人々)による取り組みが昨年から始まりました。



↑高時川の川原でゴミ拾いをする地域のみなさん

聞いて感じる

川原に生い茂る竹の伐採、雑草・雑木の刈取り、不法投棄されたゴミや流れ着くゴミの回収・処分等の活動。自然を大切に思う気持ちの後押しするこの取り組みが「ふるさとの川」への親しみを深めています。

「景観の美しさ」「せせらぎの音」が帰ってくることで高時川が生き返り、地域のみなさんの笑顔に繋がっています。